

第2回 入野賞室内楽 受賞作品コンサート

IRINO
PRIZE

The Irino Prize for Chamber Music Composition Prize Winner's Concert Vol.2

2017
6/23 Fri

会場:東京オペラシティ リサイタルホール
18:30開場 19:00開演

前売券**3,000円** 当日券**3,500円**
東京オペラシティ チケットセンター Tel: 03-5353-9999

Program

ラファエル・ナシフ：架空のダンスのシルエット (第32回入野賞受賞)

Rafael Nassif: Silhuetas de uma Dança Imaginária for guitar quartet

アルベルト・ランパーニ：自然儀式 (第32回入野賞受賞)

Alberto Rampani: Cursus Naturae for flute, violin, viola, cello and percussion

リシャール・ペラン：次元の拡張 (第34回入野賞受賞)

Richard Perrin: l'Extension des dimensions for flute, clarinet, french horn, cello, piano, and vibraphone

高橋溪太郎：ペンティメント (第34回入野賞受賞)

Keitaro Takahashi: Pentimento for flute, violin, viola and cello

ラファエル・ナシフ：魅惑の音楽 (第36回入野賞受賞)

Rafael Nassif: Musica d'incanto for an oboe and a trio of very low instruments far apart: contrabassoon, contrabass and tuba

坂田直樹：光の化石 (第36回入野賞受賞)

Naoki Sakata: Fossiles de Lumière for flute, clarinet, saxophone, accordion, harp, violin, viola and cello

入野義朗：尺八と箏の協奏的二重奏

Yoshiro Vladimir Irino: Duo Concertante for shakuhachi and koto

演奏: アンサンブル・ノマド

木ノ脇道元 (fl) 林 憲秀 (ob) 菊地秀夫 (cl) 塚原里江 (c-fg) 橋本晋也 (tb) 大石将紀 (sax)
小林祐治 (hr) 大田智美 (accd) 高野麗音 (hp) 山田 岳・大坪純平・土橋庸人 (gt) 花田和加子 (vn)
甲斐史子 (va) 菊地知也 (vc) 佐藤洋嗣 (cb) 中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc) 佐藤紀雄 (gt/cond)

中島裕康 (箏) 黒田鈴尊 (尺八)

主催: 入野賞基金 (代表: 入野禮子)
公演実行委員会: 入野賞選考委員

助成: NOMURA FOUNDATION 公益財団法人 朝日新聞文化財団
お問い合わせ: keynote (キーノート) Tel: 0422-44-1165 / keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp



第2回 入野賞室内楽受賞作品コンサート

The Irino Prize for Chamber Music Composition
Prize Winner's Concert Vol.2

入野賞

The IRINO PRIZE, International Composers Competition



入野賞は日本の作曲界に大きな足跡を残し、又教育者としても多くの功績のあった故入野義朗(1921-1980)の遺志により入野禮子未亡人により設立された「入野賞基金」をもとに運営される若い作曲家の創造活動振興のために設けられた国際作曲賞である。選考の基本理念は「過去の集大成よりも、現状の変革と未来への可能性、方向性」を重視するという入野義朗の遺志を呈しており、1981年に石井眞木(故人)、湯浅譲二、松平頼暁の三氏の協力により発足した。今回のコンサートは、2010年に開催された「入野賞30周年記念演奏会」に続き、過去に室内楽部門で入野賞を受賞した作品を紹介する。

入野義朗 Yoshio Vladimir Irino



ウラジオストク出身。東京帝国大学(現東京大学)在学中に作曲を諸井三郎に師事。桐朋学園音楽科設立に参加、音楽教育に尽力する。軽井沢現代音楽祭、バンムジーク・フェスティヴァルなどを企画し、新しい音楽を追究、紹介する。アジア作曲家連盟(ACL)の設立に参加。12音技法の紹介、作曲で先駆的役割を果たす。100余曲の作品を残し、尾高賞、イタリア賞などを受賞。没後「入野賞」、1981年にはアジアの作曲家のための「ACL入野義朗記念作曲賞」が設立される。従五位勲四等旭日小授章が追授される。



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788 京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

Composers

ラファエル・ナシフ Rafael Nassif (第32, 36回受賞)



1984年7月19日にブラジルのジュイス・デ・フォアラで生まれる。独学で作曲を学び、15歳で自作によるピアノリサイタルを開催する。10代でAlmeida PradoとMarlos Nobreに作曲の個人レッスンを受ける。2006年シュトゥットガルト芸術大学で作曲を学び、修士号を取得。またOliver SchnellerとMarco Stroppaのソロロジーのセミナーにも参加。2014年、同大学で才能ある若手音楽家だけが学べる“Konzertexmen”で作曲を修める。

アルベルト・ランパーニ Alberto Rampani (第32回受賞)



1980年、ミラノ生まれ。イタリアでピアノを、スイスで作曲と音楽理論を学ぶ。ミラノ市立音楽学校でM. Tadini, J. Baboni-Schilingi, A. Vidolinに電子音楽を学んだ後、スイスで電子音楽とサウンド・デザインの学位を取得。近年、ローマで映像音楽と応用音楽を学ぶ。2015年、ミラノ万博でアンサンブルのための作品を委嘱される。

リシャール・ペラン Richard Perrin (第34回受賞)



1980年、フランス生まれ。リヨン国立高等音楽院で作曲の修士号を取得。パリのソルボンヌ大学で音楽学の修士を取得。また、パリ国立高等音楽院で6種の音楽理論で1等賞を取る。パリのエコール・ノルマルでピアノを習い、ピアノとドラムの演奏もしている。2004年に「Philippe Hurelの四つの変奏曲」でCharles Cros Academyの“Coup de coeur”賞を受賞。2008年、カンヌの打楽器作品の為に国際作曲賞で第2位を受賞。

高橋溪太郎 Keitaro Takahashi (第34回受賞)



1986年生まれ。2009年に国立音楽大学、音楽文化デザイン学科を卒業し有馬賞受賞。後にスイス、バーゼル音楽院作曲科に留学。2011年に修士、2013年にspecialized修士を取得。作曲、コンピュータ音楽を葉孝之、エリック・オニヤに、音楽理論をチミン・ユアンに、プログラミングを松田周、現代音楽ピアノを井上郷子の各氏に師事。

坂田直樹 Naoki Sakata (第36回受賞)



1981年、京都市生まれ。2007年愛知県立芸術大学、2008年パリ・エコール・ノルマル音楽院をそれぞれ首席で卒業。2013年パリ国立高等音楽院にてステファノ・ジェルヴァゾーニのクラスを修了。2014年IRCAMIにて研修を受ける。桑原賞、SACEM賞を受賞。2011年、武生作曲賞、日本音楽コンクール作曲部門入選。2017年、武満徹作曲賞ファイナリスト。